



是を是と謂い、  
非を非と謂うを、直と曰う

(荀子)

正しいことは正しいといひ、  
まちがったことはまちがって  
いるといふ。これが直というもの  
である(諸橋敏次『中国古典名  
言集』)。

「正しいことは正しいといひ、  
まちがったことはまちがって  
いるといふ。これが直というもの  
である(諸橋敏次『中国古典名  
言集』)。」

## 下水道事業は環境事業であり、自然と水資源を守る事業である

### 小國宏・香川県多度津町長の正論に学ぶ

張市の財政破綻の原因として、  
下水道債が取り上げられている  
点について反論したので。  
小國町長は、夕張市倒産の原  
因について(屋山氏の下水道債  
原因論を批判して)歳入と人件  
費のあり方にあると、夕張市と  
多度津町を比較して説明してい  
る。  
歳入人件費17億7000万円だ  
った。2004年の夕張市の職  
員数(一般会計)は274人  
(人口1万3001人)、多度  
津町は職員数192人(人口2  
万3613人)だった。  
小國町長は、夕張市倒産の主  
原因は下水道債ではなく、歳入  
を大幅に上回る人件費にあった

会の承認を得て計画的に進めて  
おり、合併処理浄化槽の整備に  
ついては経済性や効率性を総合  
的に勘案し、下水道整備区域外  
において、町単独補助をつけて  
取り組んでいます」  
多度津町の汚水処理整備状況  
は、①下水道供用開始人口は1  
万3499人(下水道普及率56  
・3%)、②合併処理浄化槽入  
口2073人、③汚水処理人口  
①+②1万5572人(汚  
水処理普及率65・3%)である。

香川県多度津町の小國宏町長  
から、私の下水道論に対し「厚  
情に溢れるお手紙をいただき、  
恐縮した。このなかに「私(小  
國宏町長)は早くから、国に対  
しては下水道事業は環境事業で  
あると位置づけ、地方にあつて  
は、自然を守り水資源を守るの  
は下水道である」と言いつづけ  
てきました」と書かれていた。  
まことに卓見であると感じ、心  
を打たれた。

「12月1日付の貴方の意見の  
中で一部誤解が感じられるの  
で、地方で苦勞しながら、町の  
経営に努力している者として申  
し上げたい」  
屋山太郎氏は、同紙「正論」  
で下水道に否定的見解を述べて  
いた。小國多度津町長は、屋山  
論文のなかで論じられている夕

2004年度の夕張市と多度  
津町の決算を比較した小國町長  
の説明には説得力がある。夕張  
市の歳入地方税9億7000万  
円に対し、歳出人件費27億50  
00万円、歳入を大幅に上回  
る人件費支出が行われていた。  
これに対し、多度津町の場合は  
歳入地方税29億2000万円、

ことを証明し、屋山氏の謬論  
を批判したのである。正論であ  
る。  
さらに小國町長は、多度津町  
の健全経営の原因について次の  
ように述べている。

下水道普及率は56・6%。約20  
年、約100億円借金がありま  
す。それでも町民は、衛生的な  
生活ができ、小さな河川でも流  
れる水が、昔より良くなったこ  
とで納得してくれています」

小國宏多度津町長の産経新聞  
「正論」屋山論文批判には説得  
力がある。小國町長の「是は是、  
非は非」と明言する真々直々な  
姿勢に対し深く敬意を表した  
。下水道事業を自然環境を守  
る事業と位置づけ、水資源を守  
るために努力している小國・多  
度津町政のさらなる発展を祈り  
ます。

小國町長からいただいたお手  
紙に「2009年12月1日付産  
経新聞「正論」の執筆者・屋山

「2009年12月1日付産  
経新聞「正論」の執筆者・屋山